

# 在宅難病患者・医療的ケア児への 災害時支援

～個別避難計画作成に向けて～



日ごろより、難病患者及び医療的ケア児とその家族の在宅療養生活・災害時対応に関する相談・支援に従事している皆さまを対象に、研修を実施します。

災害における支援や連携についてイメージすることができ、実際の個別避難計画の作成や、災害時支援へとつなげられることを目的として開催します。

日時

令和6年 **7月26日** **金** 17:45～19:30

参加方法

**オンライン参加** 又は **会場参加**

(Zoomミーティング)

(会場: 県小田原合同庁舎2DE会議室)

講師

- 紅谷 浩之 (オレンジホームケアクリニック 院長)
- 岩下 記久 (神奈川県福祉子どもみらい局 福祉部 地域福祉課)

申込方法



下記URL又は左の二次元コードから「e-kanagawa電子申請システム」にアクセスして参加申し込みをしてください。申し込みの締め切りは令和6年7月19日(金)です。  
 登録時に「オンライン参加」を選択された方には、後日ZoomミーティングのURLをメールでお知らせします。

[https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=77375](https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerList_detail?tempSeq=77375)

問合せ先

小田原保健福祉事務所 TEL: 0465-32-8000

【医療的ケア児の支援について】

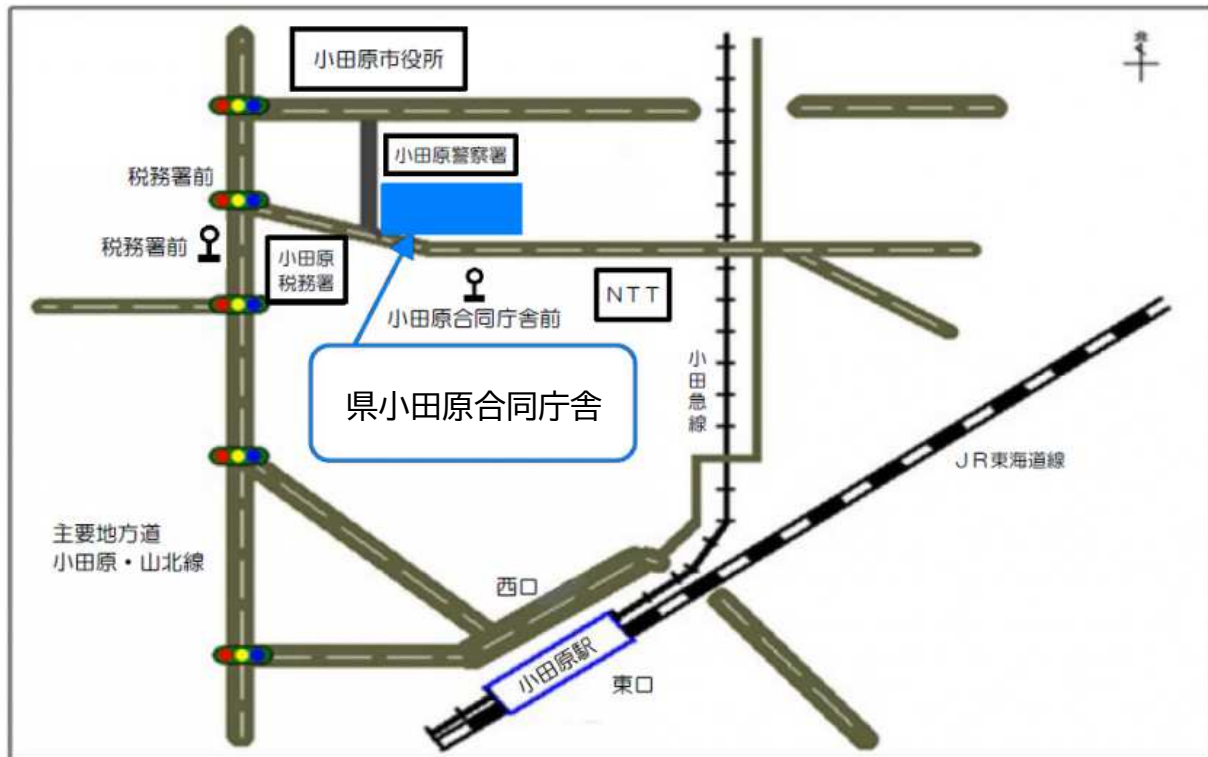
保健福祉課 浅岡(内線3238)

【難病患者の支援について】

保健予防課 長山(内線3243)

## 会場参加される方

県小田原合同庁舎 2階 2DE会議室（住所：小田原市荻窪350-1）



- 小田原駅「東口」2番乗り場より伊豆箱根バス、「県立諏訪の原公園」または「久野車庫」方面行き「小田原合同庁舎前」下車すぐ
- 小田原駅「西口」2番乗り場より伊豆箱根バス、「兎河原循環」または「久野車庫」方面行き「税務署前」下車 徒歩3分

（参考）個別避難計画とは…

- 災害時に自ら避難することが困難な高齢者や障害者等（避難行動要支援者）の避難支援等を実施するための計画を指します。
- 東日本大震災の教訓として、障害者、高齢者、外国人、妊産婦等の方々について、情報提供、避難、避難生活等様々な場面で対応が不十分な場面があったことを受け、平成25年の災害対策基本法の改正により、避難行動要支援者について、避難行動要支援者名簿を作成することが市町村の義務とされました。
- 近年の災害においても、多くの高齢者や障害者等の方々が被害に遭われている状況を踏まえ、災害時の避難支援等を実効性のあるものとするためには個別避難計画の作成が有効とされたことから、令和3年の災害対策基本法の改正により、避難行動要支援者について、個別避難計画を作成することが市町村の努力義務とされています。
- こうした背景を受け、令和6年度、小田原保健福祉事務所では難病対策地域協議会部会・母子保健福祉委員会小児等在宅医療の推進部会が合同で、市町・関係機関と連携し、難病患者・医療的ケア児の個別避難計画作成に向けた取り組みを行っています。

（内閣府防災情報のページ「避難行動要支援者の避難行動支援に関すること」より一部引用）